

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2019年12月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで57年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年を受賞作を決定いたします。6月初旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース (<https://houkon.jp/galaxy-database/>)」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

◆お問い合わせ先

放送批評懇談会／担当：福島・齋藤

〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F

Tel : 03-5379-5521 Fax : 03-5379-5510

kondankai@houkon.jp <https://houkon.jp/>

放送批評懇談会



2019年12月度ギャラクシー賞月間賞

全力！脱カタイムズ

11月29日放送 23:00～23:40 フジテレビジョン

コント番組を作ることが困難な時代に「報道番組」をパロディにして作り込んだ笑いに挑戦し続けている。それまでずっとフェイクをやってきた番組の歴史自体が前振りとなったアンタッチャブル復活のサプライズは、彼らの空白の10年間分のリアルな感情を映し出した。またその面白さを最優先させ、事前告知なしで放送したのも粋だった。

俺の話は長い

10月12日～12月14日放送 22:00～22:54 日本テレビ放送網 オフィスクレッシェンド

屁理屈を武器に実家に居座る31歳ニートと、自宅改修で転がり込んできた姉一家。3カ月の共同生活がそれぞれの人生を動かしていく様子を、30分×2本立ての挑戦で描いた。何でもない日常のひとコマで笑いと涙を描く金子茂樹の脚本と、形にした生田斗真、小池栄子らキャスト陣。ONE TEAMで令和の家族を描いたホームドラマの快作。

大河ドラマ「いだてん～東京オリムピック噺～」

1月6日～12月15日放送 20:00～20:45 日本放送協会

日本における「スポーツ」の概念の誕生から、オリンピックを通して日本の近代史を描いた。わかりやすい「英雄」も出てこない大河ドラマとしては異色の作品だが、明治から昭和まで政治や戦争に翻弄されながらスポーツが取り巻く状況が変化していく姿は、驚くほど現代の日本が抱える諸問題とリンクしており、見応えがあった。

BS1スペシャル「証言ドキュメント 天安門事件30年」

12月21日放送 20:00～21:50 日本放送協会

権力闘争の視点から天安門事件の真相に迫った力作。民主化デモが胡耀邦死去から始まった経緯や、最後まで若者の味方であろうとした趙紫陽の悲劇など、数々の映像や証言でじっくり描いた。言論の自由がどんどん怪しくなる時代に、天安門の挫折から学ぶことは大きい。